

- ？ ＊ ・能力開発セミナーにぜひ出席してみたいのでそのへんの資料が有りましたらぜひ送ってほしい。
- ？ ＊ ・現在の職場において直接当短大で学んだ事は、関係しない部分が大伴です。しかし基礎的な部分では必要とする事がありますので2年間の課程は貴重であったと思いますし、今後関連する職に直面することがある様であれば、是非発揮して今以上の力を身につけたいものです。
- ？ ＊ ・現在、入社7年目でカーオーディオの設計、具体的には、カーメーカーの純正カーオーディオの電気担当をしております。過去に自分の設計したカーオーディオが乗った車は、国内、北米向け合せて9種類以上あります。今年の春先から、中国生産準備プロジェクトチームの一員として、一般市販の設計技術者として、一番若輩者で参加しております。この仕事は会社はじまっていらいのBig PJで光栄に思っております。海外駐在をして、日本と海外の往来が激しい生活しております。北海道職訓短大に感謝しております。回答が遅れて申し訳ありませんでした。

＊ 電気・電子関係科（電子技術科）

- H2 ＊ ・2年間で専門的な事を身につけるのは正直難しいと思います。特に普通科や、入学科以外の科からの人はついていくのにきついカリキュラムになっていると思います。職訓短大へ入学したからには、2年間勉強中心の生活を行う必要があると思います。
- // ＊ ・短大で基礎的な部品を学習し身につけておけばその後十分役立つと思います。
- // ＊ ・正直言って2年間でのカリキュラムとしては過密すぎると思う。もうちょっと学生生活にゆとりがほしかったと思う。
私の通った学校にはサークルというものがなかった。もっと何か学生達だけでできるような事を考えてもらいたい。例えば他の学校と何らかの形で交流を深めたりとかもっと楽しさが必要だと思う。勉強だってもっと楽しくやりたいだろうし、その辺の所を考えてもらいたい。
- H3 ＊ ・学校には大変すばらしい設備がそろっていますが、2年間では、ようやく機器の使い方がわかったところで卒業となってしまうので、もう少し期間が長くなれば、もっといろいろ有意義に利用もでき、知識も深まると思います。3年制にはならないのでしょうか。とても、もったいない気がします。
- // ＊ ・在学中の後輩たちへ
卒業後の事をしっかり考えて今自分がなすべき事をやってもらいたい！
- // ＊ ・1クラス20人前後というのは、一生の親友を作るのに最適な人数だと思います。是非続けて下さい。
・アンケート調査御苦勞様です。このアンケートが職訓短大の一層の発展につながるようお祈り致します。
- // ＊ ・短期大学は2年間という短い期間である。普通高校卒の人たちにとっては技術者（実践的な）を得るためにはつらいと思う。自分のつきたい職種によっても役立つ講義と必要とされない物とができてくると思う。いま、自分がついている仕事に関しては、2年間で学んだものは十分必要性のあるものですが、理解十分で卒業できなかったのが残念でした。もっと技術的にこれだけはというものを何度も繰り返し勉強したかったです。
・大学として本当に生徒に対して能力を見につけさせるように思うのであれば、環境をもっとよくしてもよいと思う。寮についても、勉強のしやすい環境、設備があると思う。今後、後輩の方々の活躍を期待します。
- // ＊ ・このようなアンケートをもとにして、より良い学校にしてください。
（個性のある学校にしてください。）

H3 *・全く別のお話ですが、転職前に、会社（1番目の）の不満を担任だった先生に相談したところ、次を紹介してやるからやめてしまえを言われたので、その言葉を信じて退職した。その後「最近の子はすぐにやめて次を紹介してもらえばいいや、と簡単に考える。だから見せしめとしてお前のような奴が必要だ。」と言われ、結局その先生にダメされたことになった。その後更に「見せしめには女の子ではないといけない。男の子は一生がかかっているからな。」と言われ、ハラが立った。最終的に、私はフリーターでも良かったのだが、別の学科で仲の良かった先生が現在の職場を紹介された。教育する側に問題点はないのか疑問である。

// *・卒業後に後悔しない様、頑張って勉強し技術、資格等を身に付けて欲しい。

// *・私が現在担当している業務は原子力発電所の制御盤設計です。私が卒業した学科は電子技術科だったため、実際職訓時代に学んだことは（専門知識）職場であまり役立ちませんでした。
また会社側では職訓の様な短大や専門学校を卒業して入社しても高卒扱いなので2年間の勉強は無駄なものだったのかなと考えたこともありました。しかし職訓で学んだことは後悔していません。職訓では実習が多くあったため、問題解決の面では今の職場でもおおいに役にたっています。
これからもよりよい学校に発展することを願っています。アンケートの回答遅れまして大変申し訳ありませんでした。

// *・この学校の存在をもっと公に知らせるべきだと思う。多分、100人中99人まではこの学校の存在自体全く知らないと思います。

// *・私も社会人になって4年目に入りますが、今企業がほしがっているのはどのような人材であるかを十分把握して、決して会社の知名度にとらわれることなく就職先を決めてほしいと思います。またそれを学校自体良く把握してほしいです。その為には今回のアンケートのように卒業生を利用して良いと思いますし、少なくとも私自身は全く苦になりません。
私は職業訓練短期大学校を卒業したことを誇りに思っているのでは非いろいろな意味での良い人材を育成しなっていってほしいと思います。乱筆乱文で申し分けありませんでした。

// *・現在、システム開発の仕事をしていますが、同じプログラマーでも事ム係技術係でたいへんちがいます。今は事ム係の仕事をしてますが、以前は技術係の仕事をしていました。いずれ、技術係にもどりたいと思っているため、同じ会社にはいますが、今はあまり関心がありません。

* 電気・電子関係科（電子科）

S51 *・機会があれば、現在のカリキュラム等について、先生方と話をしてみたいと思います。

S54 *・資格取得にもっと積極的に行ってほしかった。二年間の学習終了時に資格が一つも得られないのは悲情に残念であった。さらに就職も、求人内容の乏しかった。

S57 *・自分なりに納得し、理解を深めることが必要である。

// *・カリキュラムについて

専門的な技術職についた場合、

論文の書き方や英語論文の読み方を知っていると必ず役に立つと思います。こう言った内容を一般教養にでもとり入れたらどうですか？

// *・私が貴短期大学校で学んだことは、現在まで非常に役立っている。貴校の実習・実験を重視する方向性は、よいと思う。学校名称が変わったのは残念だが、今後もさらに充実したカリキュラムで、多くの卒業生を社会へ送り出してほしい。

- S60 *・短大（2年）というのは、短かく、忙しい。ゆとりがなかった。カリキュラムの内容、特に実験についてはすぐれていて、設備もお金をかけていたと思う。ただ、理論（講義）は時間が短かくて、又4年大学から比べると浅く感じました。訓大（4年）へ行けばと入ってから思いました。
- 〃 *・学校へ：このようなアンケートは、卒業以来多分始めてだと思うが、非常によいことだと思う。過去の卒業生の情報を今後も蓄積していった、これからの教育に役立てて下さい。世の中、学歴社会が見直されている傾向にあり、（私自身 大学卒が色々な面で優秀とはほとんど思えない）この職業訓練（技術を身につける。）が今後もっと脚光を浴びるのではと思っている。これからも職業訓練（職業能力開発）を見つづけて行きますのでガンバッテ下さい。
- ・後輩へ：短い学生生活の中で、勉強に遊びにバイトに充実した日々を送って下さい。今の友の中には、絶対に1人は一生の友になるであろう人がいます。私も卒業して10年経ちますが、今でも職訓時代の友と仕事の悩み・仕事の情報交換・遊びをたまに行っていますよ。とにかく、毎日毎日をガンバレ！
- S63 *・職訓短大で学んだ事は、社会へ出て非常に役にたち、色々な仕事を経験してきました。しかし自分自身、大卒の人たちと仕事をこなす際、“学歴”を意識しすぎて思った意見を言えなかった気がします。（現在はそうではないが…）もっと自身をもって、色々な仕事を行っていけば、“学歴”はあまり関係ないと思います。
- 〃 *・私の現在の職業はVTR・TV他の家電製品の修理が主で講習会でトレーナーを担当する事もあります。毎年、専門学校、高専等を卒業した新入社員が入社しますが、あまりにも基礎的な部分（オームの法則、トランジスタの種別、動作等）を知らず、後々の教育に大変苦労するのが現状です。基礎力がしっかりしていれば、あとは色々な方面への応用が可能です。基礎教育の充実を強く要望します。
- 〃 *・「能力開発セミナー」の開設は知っているが、もし、その教育を必要とする仕事に従事することになれば受講すると思う。
- ・一般教養科目であるが、個人的に法律の時間は楽しい時間でした。
- ・現在、会社において「特許」についての講演があったりと、特許製品の開発に力を入れているので、当職訓短大でもその方面にも教育の時間を取れるといいのではないのでしょうか。
- 〃 *・短大を卒業してずいぶん経っていたので今回突然の事でびっくりしました。学校では、かなり足をひっぱる劣等生だったうえ卒業後も期待に答えられずその事に対し努力もせず、平凡な主婦になってしまいました。全く、参考になる様な解答も出来ず、申し訳なく思っております。そんな訳で、今後も仕事の予定もないので、調査の対象にはならないと思いますので勝手ではありますが、対象から放していただければと思います。よろしくお願い申し上げます。
- ・自分の在学中は学校の知名度も低かったのが、今や有名校のひとつとされていると聞き、嬉しく思いました。ますます 優秀な人材が育ち学校も一層発展される事を影ながら、応援させていただきます。
- 〃 *・後輩の皆様へ
学校で勉強したことが必ず社会人になって役立つと信じて頑張ってください。社会人になってからも継続して勉強に打ち込んで下さい。そうすればきっと自分のためになると思います。
- 〃 *・私は親の勧めで職業訓練短大へ入学しました。なぜ勧められたかという、授業料が安いからです。私自身、投げやりな気持ちで2年間を過してしまいました。自分のやりたかった道ではないと感じていたからです。その時は貴重な2年間を無駄に過ごしてしまったと、やるせない気持ちでいましたが、今思うと人生に無駄な時期などはなくその時の、短大時代の2年間があるからこそ、今の私があるわけで人間は気の持ちようでどうにでも良い方向に進んでゆくことが出来るようになるようになりました。私の生活信条は“人間万事 さい翁が馬”です。それはともかく目的意識を持って職訓短大に入学すれば大変有意義な学生生活を送れると思います。第一、授業料が安いので親孝行ですし、育成資金の制度も整っていますので、貧乏人にとってはありがたい限りです。
これから学生の質や意識が高まってゆくことを卒業生の1人として願ってやみません。

S63 *・カリキュラムを選択制にして自己が学習したい科目・分野をまなべるようにしてはどうか。

// *・少人数制、授業料の安さからこの学校を選択しました。施設面、教育内容は私の卒業後一新されたのではないのでしょうか。（一度リクルートに行って感じました）日進月歩ですね。また入社して感じたことは、世間一般では知られてないが企業においては職訓大が多く知られていることです。今後一層の職訓大の発展をお祈りします。

H2 *・開校一年目の一期生として入学しました。学校でのカリキュラム等十分に考えられてものだったとは思いますが、一年目という事で全てのカリキュラムが中途半端で、きちんと終らなかった事が残念でした。

H3 *・私は石川短大の一期生でした。先輩も後輩も最初の一年間はいなかった訳ですが教官の方々が教官でありながらも私達に先輩として接して下さった事に今でも深く感謝しています。

・わずか2年間という短い期間でしたが授業、実習以外にも屋外活動等の経験は社会人となっても非常に役に立っています。

・一つの科の人数も少なく増して私が卒業した電子科は男性18人に対して女性が3人だった訳ですが男女間、もちろん教官（先生方）とのつながりも途絶えることなく続いています。職短へ行って良かったと心から思っています。

// *・私は職業短大一期生として入学し、多くの教材に囲まれある意味自由に学ぶ事が出来たと思う。2学年分のスペースの中1年目では1年生だけで行動出来た事は気持ちの面でもゆとりを感じた。同じ方面に感心がある人間が多く集まり、他人から学ぶ事も多い2年間はとても短く感じたが充実しておりとてもよい経験だった。

// *・私は電子科卒業ですが、現在の職業は精密機械の設計・開発を行っております。全く関係のない分野のように思えますが、学生の時に習得した事はかなり有効に生かす事が出来ています。しかし、私の学友の就業状況を訪ねてみると学生時代に習得した事を完全に生かす職に就いている友人はいません。“少しは役立つ”というのが現状です。従って私の所感としましては、カリキュラムに他部門の簡単な実習をもっととり入れても良いかと思います。幅広く習得する事も社会に出ての実践力になると思います。

// *・学校に対して

- ・学生に企業実習（体験）の機会を与えた方がよいと思う。
- ・学校側は企業に対してアピールが足りないのでは？
- ・就職活動を行っている学生に対してサポートが足りないのでは？
- ・卒業生の経験談や就職のアドバイスを聞かせる機会を多くした方がよいと思う。

// *・この調査の「能力開発セミナー」というのが開設されているみたいですけど具体的にはどのような内容なのかを教えて欲しいです。その内容によっては自分も参加してみたいです。

// *・私は今、家が借家をしているので、その方の資格をとろうと思っています。そのため、学校で習った事とは、畑違いになりますが、職訓短大での体験は、一生忘れられないものとなっています。名前は変わっても、僕の心の思いは、まったく変わっていません。

// *・学校の所在地をもっと人のいるところにしたらどうかと思う。自分は石川職短で、自然の恵がある能登の地であったが、やっぱりいなかのせいかながない。人がいなという言い方がいけないと思うが、例えば県庁所在地の市町村に立地したほうがいろいろな考え方の人がいるし、またいろんな企業があるので、しげきになるのではないかな？いろいろな都合があるでしょうが、学校をたてる場所というのはものすごく重要だと思います。ますますの発展を期待します。

H3 *・神奈川近辺で、能力開発セミナーをやっている所があれば紹介して頂きたいのですが。

〃 *・私が在学していた頃のカリキュラムの内容は、2年間という期間ではたいへんすぎたように思える。しかし、現在の高度情報下社会においては技術がどんどん進歩しているなかで習得しなければならないことは、非常に多く、又内容も難しい。よって、2年間で卒業しなければならないという今の決まりを考え直し、もっと学習の出来るシステムづくりをしてほしいと思う。

H4 *・私は平成6年6月11日付で、㈱明電舎を退職し（平成4年4月入社）、自営業を営んでいますので、アンケートの回答は両者の内容が含まれています。

私の意見としては、職訓短大の社会的地位があまりないことが大きな負の要因に思います。せっかく専門的な知識・技術を持っていても、重要視されないことが多分にあります。「学歴社会だからしょうがない！」と言えはそれまでですが、もう少し他種の大学・短大・専門校と違うところを社会・企業にPRするべきだと思います。

・また、2年間のカリキュラムでは時間が少ないと思います。専門知識を学んでゆっくり研究、実習が出来るようにするべきであると思います。

〃 *・私は、現在自分が所属している部課に初めての女性技術者として配属されました。専門職に就く女性が増えているとはいえ、まだまだ少なく、周りの人達もどうあつかっていいものか、とまどっているのが現状です。私の場合も例外ではなく、いろんな面でプレッシャーを感じ、悩んだことも多々ありました。しかし、それに負けているようでは今後入社してくるであろう女性技術者に対する環境は改善されないと考え、自分自身で自分が仕事しやすい環境を作っていこうと努力している毎日です。女性だからと特別なあつかいをされたくないのも事実ですが、やはり男性でなければ出来ない仕事があるというのも事実なのです。それはそれで素直に認め、それ以外のことで甘えないように自分の能力をのばしていけばいいと私は思っています。幸いにも私の勤める会社は、性別に関係なく評価するという発展的な考えをもっており、今年は女性初の管理職も誕生しました。これからもこのような会社はどんどん増えてくるでしょう。女性技術者もどんどん増え、女性管理職もめずらしくないような時代がくることを望んでいます。女性の皆さん、がんばって下さい。

? *・カリキュラムについて一言

私は電子科卒なのですが、専門教科、実験・実習は非常に意味のあるものではありませんでした。しかし、回路設計に関する講義が少ない（全くなかったかと思う。即ち、「何故ここに100(Ω)の抵抗が必要なのか」「～回路を組むのにはここに10(PF)のコンデンサが～という理由必要となるのだ。」etc...といった内容は必ず社会に行ってから必要であると思うので、こういった科目をぜひ後輩達に教える様にして欲しい。

・またこういう科目を追加することによってカリキュラムがきつくなるのだったら一般科目を削った方が良く。確かに色々やっていたらそれにこしたないがOVER FLOWになっては意味がない。英語に関しては職についた後で必要とする人は自己又は会社が教育の場を設けてくれるので、学校で細かい所まで教える必要はない。

あくまで私達はENGINEERなのである。

* 電気・電子関係科（無線技術科）

S63 *・学校のカリキュラムについて

私が学生だった頃、週にいくつもの実験が詰まっており提出期限は7日以内、レポート枚数は10毎／冊でなくては受けとってもらえず、提出しても半分はやり直しを指示され突き返されていた。こうなってしまうと学校生活は実験とレポートのノルマをこなすだけの修業の場になってしまう。このような状態が個々の技術の卵たちに何のメリットがあったらうか。必要な事は物理・数学と各分野の基礎理論であると思う。これらがあいまいなまま実験の数ばかりを増やしても無意味である。私の会社の場合、パソコンやテスターやマイクロメーターの扱いが全く無知でも基礎理論さえしっかり押さえれば入社しても大丈夫である。職場教育がサポートしている。

S63 *・職訓短大の存在が、分からない方が多いと思います。もっと社会的にアピールした方がよいと思う。そのことが何となく、卒業生はさびしいことであります。

? *・在職者を対象とした「能力開発セミナー」の話を始めて知りました。そういうセミナーを数多く開催していただきたいと思います。在学中には気づかず、もっと勉強すればよかったと思うことが就職すれば必ず出て来ます。そんな時にこういうセミナーがあれば、能力も必ず高められると思います。みな様ががんばって下さい。

* 情報関係科（情報技術科）

H2 *・学校で勉強していることが、そのまま仕事に役立つとは限らないけれども、将来かならず役立つことがあります。難しくて、わからなくても、そういうことを学んだことさえ頭のすみにでも残していれば、会社で「あっ、そういえば学校で習ったような」と思い出すことが多々あるとおもいます。そのためにも、今は分からないかもしれないが、がんばってください。

H3 *・私にとって、職訓短大は良い学校であった。しかし社会的には各種学校なのである。たとえ職訓大に進学しても同様である事を認識してほしい。現実には甘くない事をこの4年間思いしらされ、また逆にその事が仕事に対する意欲につながっていった。現在、入社4年目にして某大手メーカーに派遣会社の身分でありながら情報システム部の1つのビル内のネットワーク管理及びシステム構築の仕事をするまでになった。これも職訓短大で習得した短期集中ができたおかげだと思っている。もし学校が本当に卒業生、在学生の事を考えるのなら、社会的地位を確立して下さい。どんなに仕事に満足していても、賃金に納得いかなければ意味がない。結果として私は、文部省の大学に入学して現在勉強中です。この選択は決して正しくはないと自分では思います。同じ勉強を2倍の年月をかけるのですから。しかし現実には大学の資格がないとチャンスもないし、大卒の10倍の努力を必要とします。現在の地位に甘んじて、安定を希望したい人には関係ないでしょうが私は違う！そのための努力を職訓短大に在学していた時とは比にならない位してきた。私の意見を無視するのもいいでしょう。しかし、これが現実だと認識してほしい。職訓大、いえ大学校が社会的に認められない限り卒業生は苦勞しているはずだ。

// *・私は情報技術科に在籍していましたが、女性が1人だったこともあってだいぶ何においても大変だったように記憶しています。しかし、職短に行ったおかげで、同級生で4年大へ行った人達よりも就職においては好景気のうちに会社も決まり、良かったと思っています。それに短大で自分の好きな理数系の勉強が出来た事も私にとってはありがたいことでした。（女子短大というと文系ばかりなので）ただ、カリキュラムとしては2年間に4年大と同じくらの内容を勉強しなければならなかったのでもとても大変でした。

・現在私は結婚していますが、仕事は続けています。それに伴って、転勤依頼を会社に出したら心よく転勤させてくれました。（女性が転勤するのはまれですが）私は、今の会社に入ることができてとても良かったと思っています。仕事の内容はOA機器のメンテナンスなので、男性的なもので体力的にも大変ですが今しか出来ない仕事だと思って頑張っています。だいぶ今日女性が社会に進出してきていますがぜひ何事も前向きに考えて頑張してほしいと思います。

// *・（短大の場合）学校は十分役立つが、学校はもっと企業に対して生徒を売るべきである。学卒より力があるにもかかわらず、学卒の方を何にしても優先される社風を打破するような働きかけが必要であると思う。

// *・「能力開発セミナー」に関する資料が欲しい。

・自分の就きたい職業を早めにみつけ、その分野の事について少しでも多くの知識をもっていた方がよい。また学生に対してそのような教育をして欲しい。

・学生の頃から自分の意見をはっきりと言える様にしておくべきである。社会人になって自分で意見をもち、それを発言することによって会社の生活が結構楽しくなるものである。

- H3 *・短大での勉強は設備も良く、実習なども多く大変良かったと感じています。社会の状況に合わせた科の設定など、他の学校ではない点ですが、就職するにはありがたいものと思います。新しいこと、新しい機器が使えて学ぶには社会の動きに合っているのがなにより良いことだと思います。ただ、2年間という期間は短く、学ぶ内容がめまぐるしく進んでいくようで、もう1年くらいあったら良かったなあとと思います。もっと社会的にも注目してもらいたいと思います。あまり知られていないように思えるのと、就職後やはり差が（対応）感じられます。大学卒にはかないませんが、より実務的な知識と実習を学んできた生徒たちももっと優遇してもらいたいものです。会社側も人材をどのポイントにおくか考えてもらいたいです。
- 不況の中、就職活動大変だと思います。なんとか、実力を使えるところへ入社できるように頑張って活動して下さい。ただ決まればいいというのではかわいそうな時代だと思います。仕事を選べる時代に早く戻るといいですね。

* 情報関係科（情報処理科）

- H1 *・情報ハイウェイ化してください。

- H2 *・私が働いている会社は東京をはじめ、岐阜、大阪といった各職訓短大卒生や訓大卒生が10人くらい勤めています。その人たちのほとんどが第一戦ですばらしい結果を出し、学校の名をしらしめています。社風の為か、専門知識だけでやっている人はおらず、どちらかというと柔らかな物の考え方が成功へとつながっている様です。私は情報処理科を卒業したのですが、始めは営業やら開発やらと異った世界で仕事をしてました。そのうちに自分の得意分野を生かして、例えばファイリングシステムを作って資料の運用を楽にしたりして、その結果、今では自分の仕事に自信を持っているし、仕事が楽しいのです。大きな会社で毎日同じことをするよりも中堅の会社で力をつけ自分の思うがままに、新しい物を作っているのが非常に楽しいと思っています。就職難ではありますが、皆さんがんばって下さい。

- 〃 *・社会的に“職業__校”というとまだまだ（よく知られていない事もあるが）地位が低いような気がします。自分が卒業した学校だから世間でもっと認められてもいいと思います。私はこの学校で勉強できた事は人生において本当によかったと思っています。しかし、まだまだ知名度が低いのがとても残念です。

- H3 *・後輩たちへ…

私はソフト開発を主な業務としていますが、その私から言わせてもらえば、「開発者」と言われる人は世の中いくらでもいますが、開発する環境を整えることができる人が少ないことにおどろきます。ソフトウェアでメシを喰う人は（と思っている人は）使用するOS、あるいはコンピュータの基礎から学習しなければいけないと思います。

ある言語（C、BASIC等）の知識だけの人は、今から先は必要ではありません。周辺知識を深めることがこれから先一番必要になってくると思います。

・学校へ…

学生に対して甘すぎる。卒業した人の中で開発、設計、見積りなどができる人が何人いるか？その辺にある専門学校と変わらないなら「職訓短大」に行くメリットは無い。カリキュラムを作成するのは現場の人ですか？それとも何も知らない役職の人ですか？時代に合わない教育は無意味。卒業生を集めてカリキュラムの会議などいかが…

- 〃 *・学校でいかに知識、技能、技術を身につけておくか、つまり基礎ができているか否かで、将来大きな差がでてきます。“会社において自分自身が一人前に仕事をしていけるよう、在学中に心して勉強して欲しい”と後輩たちに言いたいです。

- 〃 *・「能力開発セミナー」が開設されているとの事ですが、機会があればぜひ受講したいと思います。

- H3 *・私が学んだ2年間は私自身の中でも最も充実していたように思います。少人数教育だった為もあり教官の方々にもたいへん親切にして頂き感謝しています。
後輩の皆さんにアドバイスするとすれば、取れる資格はなるべく学生のうちに取得した方が良いです。取得しておいた方が採用の際にもゆうりですし、又、就職してしまってからでは資格取得は困難です。がんばって下さい。
- // *・他の短大に比べると、全く遊べる時間が少なかったように感じます。が、個人差もあるとは思いますが、私が見る限りでは本当に専門知識を！と思って取りくんできた結果、社会に出てからの考え方の違いが全くといっていいほど違います。他の短大では、かなり浅い内容しか学んでいないのでは…と考えるほどです。
- ・自信を持って社会へ出る為の準備をして下さい。また、専門知識だけ完ペキでも、これがまた面白みのない応用のきかない人間になってしまいます。一般教養的なこともしっかり興味を持って取り組んで下さい。
 - ・「人間関係」というものが、どれだけ重要かということを社会に出たらイヤというほど感じます。本当に心と心で接することの出来る友達を大切にして下さい。また、自分自身をみがき、短所を見つめ直すよう心がけて下さい。今、切に思っていることです。
- // *・在学中は時間にゆとりがなかった。講義の空き時間が生じると専門学科の実習にあてるなどしていたのでその当時は苦しかった記憶があります。ですが社会にでるとその苦しさにくらべるとずいぶん楽に感じるがありました。4年目にもなると技術的に高度な事を望まれるので大変なことも多くなりましたが、訓練校では技術的にも精神的にも多くの事を学ばさせて頂きました。そのおかげで入社してずっと同じ会社で頑張れているのだと思います。
私は情報処理科にいましたが、今の仕事はあまり関係のない仕事についています。しかし、情報処理科でも電子電気等の講義、実習があったのであまり抵抗なく今の仕事できています。専門的な事ばかりでなく幅広い学習のできる場になる学校に今後なってほしいと思います。
進む道は学生時代にいろいろ変わってくると思うのでそのほうがいいと思います。あまり参考にならない解答ですみません。乱筆乱文 失礼しました。
- // *・専門学科は難しくて苦勞したが、設備は十分整っていて良かったと思う。職訓短大の2年間で、いい先生、いい仲間に出会えてうれしかった。
- // *・学生時代は専門学科が非常に難しく、つらい日々でしたが、それは自分の努力がたりなかったのだと今になっておもいます。後輩の皆さんには、今与えられている課題に対して精一杯取り組んでみてもらいたいと思います。勉強できるのは今だけだと思って頂きたいです。
- ・学校に対しては、少人数制であることのデメリットも考えて頂きたいと思います。例えば、生徒の個性、性格などがわかりやすいので、個人的な感情を成績にもあらわしてしまいやすいことです。不当な評価のない学校にして下さい。
 - ・社会人としての希望は、社会人に対しても門を開いて頂きたいです。「能力開発セミナー」というものが前述されていましたが、もっと周りの方々に知って頂けるようになれば良いと思います。そのようなことでしたら、協力はおしみませんので、お声を掛けてもらいたいです。
 - ・このアンケート調査の結果が貴校の発展につながることを期待しております。
- // *・私は現在、文部省管轄の大学で再教育していますが、職訓短大との大きな違いとで、ぜひとも見直してほしいのは、物理、化学、数学などの基礎教育です。基礎教育の重要性を実感しています。これからも貴校の御繁栄のためがんばって下さい。
- // *・私の場合、普段の授業の流れについていけず、ただ試験の為の勉強でしかなかった。そのため自分自身、理解して身についたものはほとんどなかったもので、社会にでて苦勞した。短大に入学したてのころの基礎をおろそかにしたつげがまわってきたのだらう。先へ先へと進み、新たな知識を取得するのもよいが、まずは基礎知識をしっかり固めて学習に励んでほしい。

- H3 *・Q39、Q40は1つ選択でしたが、Q39は1~4,6全てだと思い、Q40は1,36だと思いました。
- ・すばらしい学校だとは思いますが、知っている人が少なくはっきり言って社会的には認められていないのではないかと、就職した時に感じました。もっともっと宣伝すべきだと思います。カリキュラムは、全て必須ではなく、必須と選択の両方があれば興味ある科目や自分の進む道（就職先）の科目は深く学習できたのではないかと思います。卒業してみて感じたのですが、広く浅くの学習だったと思います。いろいろ知っているので会社ではすごいと言われますが、逆に知っている＝できると思われるので新しい仕事などがどんどん来てしまい、深くは知らないで苦労しています。
- // *・私は30代になって、2人の子供、主人に助けてもらいいっしょうけんめい勉強しました。12才も若い人たちと勉強した2年間は、大変さよりも喜びの方が大きかったように思えます。
- H4 *・能開大への編入生は、学士がもらえない、単位の認定が少し納得いかない点などの不満をそれぞれ持っていると思います。それらの点を徐々にでも直していったらえれば、私の後に続いて編入してくる生徒がもっとよりよい環境で勉学に集中することができると思います。
- // *・今現在、在学中のみなさんに言いたいことがあります。それぞれの科で学んでいると思いますが、その学んでいることは必ず役に立ちますのでしっかり勉強し自分のものにしてもらいたいです。
- // *・この学校は、高度な専門知識を身につけられる素晴らしいところなので、もっと多くの人に知って欲しいと思います。
- // *・在学中の2年間でふり返って、充実したカリキュラムで他の2年制学校の卒業生より実力はあると確信しています。しかしその分2年間では時間的余裕が少なく、せめて3年間学べたらよいと思います。
- ・会社でも2年と3年の違いでは待遇が違います。情報処理科を卒業した私は、同じ2年でも専門学校を卒業した同期とは全くひけなど取らないと思うし3年制を卒業した人に対しても同じです。しかし会社側としては、情報処理試験に合格するための勉強をしてきた専門学校生と同じ待遇しかとってくれません。悪くすれば「短大」とついているために女短などの文部省の短大と同様に扱われます。
 - ・しかし、仕事自体は何でもできるという事で、いろいろな所で仕事をさせてもらっています。自分自身実力をつけたい反面、給料などの待遇に関して会社は与える物は与えず、仕事のみさせている感じがします。これも「短大」ということでいいようにされているのではないかと思うことがあります。
 - ・情報分野は日々刻々と進歩し、発展が目覚ましい分野です。今までのメインフレーム中心の勉強も必要ですが、私の会社でもC/Sシステムなど、分散システムの開発が増加しています。今からはワークステーションやパソコンを使って、インストールからソフトの使用、プログラム開発までできる人材が必要とされるようです。その辺の新しい流れにそった能力開発を、もう少し余裕を持ったカリキュラムで行ってはどうでしょうか。4年間あっても私はいいと思います。
 - ・最後に、2年間の学生生活は楽しいことばかりではありませんでしたが、先生方や友人に恵まれ、本当によい2年間を送ることができました。私は職短の卒業生であることを誇りに思っています。
- ? *・私が卒業した情報処理科は非常に幅広い分野で勉強させていただきました。今振り返ってみると、実感的な内容であったように思う。
- ・しかし私自身、好きな科目に対してはよく勉強したと思いますが、その他はあまりまじめに取り組まなかった。もしすべての科目に対してまじめに勉強していれば、今現在でも非常に役に立ったものであったと思う。
 - ・私はコンピュータのことが全くといってよい程わからなかったため、入学当所は大変苦労しました。私の経験から言わしていただくと、最初はコンピュータの概念的なものから入るのではなく、遊びを通して、コンピュータになれることを目標として時間をさけば良いのではないかと思います。
 - ・それから、情報処理科のカリキュラムの多くは、大型汎用コンピュータについてのものが多かったが、これからはパソコンをベースにしたクライアント・サーバ形態のものを中心にカリキュラムを組んでみれば良いのではないのでしょうか。特に今は、WINDOWSあたりが適当ではないのでしょうか。

コンピュータは日々進化し続けています。その時代のニーズにあったものを中心に行っていけば、企業に入ったあとでも十分実践で通用する人材が育つのではないかと考えます。

*** 情報関係科（電子情報システム科）**

H3 *・この学校は世間にあまり知られていないのもったいないと思う。もっともっとメジャーな学校となることを期待する。

*** 情報関係科（電子情報技術科）**

H1 *・Q29に挙げられていた「能力開発セミナー」について少々興味があります。資料等が御座居ましたら会社パンフレット等1部送付して下さいですが……。宜しくお願い致します。

H3 *・このような機会は本当に有難いので、いろいろな事を吸収し、社会に役に立つように頑張ってもらいたい。

〃 *・短大を卒業した後、一度就職し、電子製品の製造に携わっていたのですが、自分で電子回路設計をしたいと思い、今年の7月に能開大の編入試験を受験しました。幸運にも、電子工学科へ合格し来年の4月から又新たに学生に戻る事になりました。一から電子について勉強し知識を身に付けたいと思っています。この就職難の折、会社を退めた事は無謀な事だと思われるかもしれませんが私にとってもう一度学生に戻り勉強して設計をする事が夢だったので。その思いが、合格へ導いたと思います。だから、自分のやりたい事をしっかりと持っていく事が必要で大切だと思います。

*** 情報関係科（情報システム科）**

H1 *・一般の学校とはちがって単位数が多く、大変だったのがよくおぼえている。もう少しよゆうを持って勉強したかった。

〃 *・職業訓練短期大学校（現在の職業能力開発短期大学校）は、文部省に属する学校ではなく、労働省に属する学校である。この事によって、雇用先で不都合が生じる可能性は少なくない。事実、私は高校卒扱いとして雇用されている。私の他にも同校を卒業された諸先輩方の中にも同じ境遇の方がおられるとうかがっております。こういった実例が少なくないという事を、入学後の学生の方々にわかっておいていただきたいと思います。

・次に、カリキュラムと学習期間について、組まれたカリキュラムの内容と量からいうと3年制にしても良いのではないのでしょうか。私は、普通高校卒業で理工学の学習のような事としては、我流でのソフトウェア解析程度でした。電子・情報システム系情報システム科に入学後は、今まで未知であった概念を0から学ぶ心構えができる間もなく、詰め込み学習のベルトコンベアに乗っていた様な気がします。教職員の方々は、各々の分野のエキスパートなのでしょうけれども、英語が苦手な工業高校卒の学生や、初めて学習するカリキュラムを目の当たりにする普通高校卒の学生がいる事を今よりも少しだけ考慮していただき、学生が参考書とにらめっこする事しかさせないような学校にはならないでいただきたい。

・入学後の学生の方々に。労働省に属する校数は、文部省に属する校数に比べて少ない。これは1校に割り当てられる予算が大きくとれるのだそうです。私が在学中は然り、卒業後も設備は整っているようです。こういった環境を十分活用して下さい。また、これからの社会人として堂々と胸を張って生きていける人になって下さい。

・最後に、このように卒業後の調査をなさる事で、学生にとって、また、教職員にとって、年々より良くなり、また、意義のある環境になりますようお願いしております。

- H3 *・職業訓練短大は、施設設備等充実していて、工科系の4年制大学にまけないくらいの実力をもっていると思う。問題は、生徒をやる気にさせるかせないかだと思う。この調査を足がかりとして高校及び予備校などにもっと積極的に募集を呼びかければ優秀な人材が集まり学校じたいも活気がでてくと思う。
- // *・現在、仕事に役立っている専門学科目もありますが、ほとんどが生かされていません。就職活動の時に自分の興味のある科目がどういう職種につながるかを知っていたら別の会社を選んでいたかもしれません。授業が実際の仕事（いろんな）に近いことをすべきだと思います。
- // *・私は情報システム科を卒業し会社へ入社しました。入社後、システム開発を約2年間位やりました。この学校でプログラム言語はFORTRAN, BASICを習いましたが、私の会社では主にC言語でシステム開発を行っております。たまにFORTRANも使いますが、学校のレベルと会社のレベルが全々違うのを痛感しました。そこでC言語の教育とFORTRANのレベルの向上を考えてみてはどうでしょうか！？
- ・最後に学校生活の2年間、お世話になった先生、本当にありがとうございました。
- // *・世の中、一般的に「職訓短大」というものが知られていないと思う。「職訓短大」という所はどのような教育をして、どのようなことを行なっている学校であるということをもっと他の人が知っていればどんなに良いかと思う。それは「職訓短大」が他の大学などに比べひけをとらないくらい専門知識を身につけていると思うし、実際その力もあると思う。もし世の中にもっと知られていればもっと就職は楽になるのではないかと思う。
- // *・もっと知名度を高めた方がよいと思う。（職業訓練所と間違えられる為）
- // *・職業能力開発大学及び短大の、世の中における知名度が低い。（怪しい短大や専門学校等といっしょにされるのも心外）この点が一番の不満である。
- // *・卒業してから、たまに職短に顔は出しているが最近あまりいっていないので、現在どのような事をやっているかを知る為に学校のパンフレットなど卒業生に送ってほしい。
- ・現在、学校名（ポリテクカレッジ）が変わっているが、あまり聞こえがよくないので短く、わかりやすい学校名にしてほしい。
- ・社会にでて思ったが、社会は厳しいので厳しい事も学校で教えてほしい。
- ・在学中の学園祭は、あまり派手にやらなかったのも、もっと世間に広めて大きな学園祭にして欲しい。
- ・このような調査が役立つのなら今後もつづけてください。
- // *・私が在学中、就職する職場をさがしている時、1科から1社1名という制度があった。今日、このようなシステムをとっているかどうかは分からないが、これでは自分がこの会社が私にピッタリと思っても、その前に同科のものがその会社に就職を決定していれば入れないので、こういうやり方はやめてもらいたかった。実際、こういうやり方によって希望の会社に入れず、数カ月で就職先を退職したものもありました。
- // *・なんとなく“情報システム科”に入り、2年間過ごして会社に入り、プログラマーという仕事をしています。実際にプログラムを組むという仕事をしてみて、2年間学んだにもかかわらずあまり身に付いていない事に気づきました。自分自身の取り組み方にも問題があったというのが一番大きいと思いますが、学校でのカリキュラムを見てみると“広くあさく”という感じがします。1つの事を勉強しはじめて、やっとわかりかけてきた時に他の科目に入ってしまうので、数はこなしたが結局は何一つ満足に習得したものがありませんでした。現在、自分の扱っている言語はCOBOLですが言語にも数多くあります。選択で自分の学びたい言語を選び、それに深くつっこんで勉強した方が良いのではないかと思います。出身“科”を見られて出来て当然と思われがちです。

H3 *・何故、職種覧にソフトウェア関連の職業が載っていないのだろう？

// *・職訓短大を卒業して丸3年たちましたが、自分自身の教養を更に高める必要が有ると考えております。職業能力開発大学校側でも「能力開発セミナー」等を開催して対応しているみたいですが、卒業した職訓短大生が他の四年大学及び職業訓練大学等に偏入は可能なのでしょうか？

* 情報関係科（応用情報処理科）

H3 *・後輩へ

今、学んでいることはいずれ自分の武器になるものです。職業能力開発短期大学校に入ったのであれば一つでも多くの武器をもって就職活動又就職なさってください。

// *・自分が就職した時は職が余っていた状況で、仕事の内容も4大、高専、専門学校卒の同期ともほぼ同内容で与えられている。母校からは自分を含め3年連続で採用されたものの、この2年間採用人数の問題もあつた採用されなかった。

・自分の学生生活をふり返ると、あまり良いものとは言えないと思う。それ程勉強ばかり熱心だったわけではないが、「カリキュラムが過密でゆとりが無かった」という言葉がピッタリあてはまる。

・単純に「短大を4大にすれば良い」、それで上記の問題が解決するものと在学中は思っていたが、職場に入り仕事をする上で、4大卒だから必ずしもレベルの高い人間であるとは思わない。また、企業側も新卒者を採用する際に他の4大と同様に扱うかどうか疑問である。

・資格取得で「レベルの高い短大生」を企業にアピールするのが有効なのでは？

// *・施設や備品・部品が充実しているため実習に関しては大いに利用でき必ず将来何らかの形で役立つので真剣にとりくんでほしいし、逆にカリキュラム的には決して詰まりすぎていると思うので、高校で得られなかった友達とのアフタースクールの自由さや、就職したら取り戻せない学生生活を精一杯楽しんで下さい。

・今でも職訓短での2年間はかけがえのない思い出でいっぱいです。

* 情報関係科（応用情報科）

H3 *・今は会社に入るのも難しいといわれているけれど自分の興味のある職種についてほしいと思っています。

* 情報関係科（電子情報科）

H3 *・消防設備士を受けたいと思いますが、当卒業校は必修科目の受験の免除になるかどうか、わからないと答えられたので、もう少し卒業生に対して学校側は協力してほしいと思った。

// *・私の短大時代は私の人生の中でとてもよい思い出になり、専門的な知識も習得でき大変有難いと思っています。今学校にいる後輩達に助言として、勉強も当然しっかり行わなければいけません、他にいろいろ思い出を作してほしいと思います。

// *・職訓短大は就職もすんなりいけたし、就職活動もよくできた所だと思います。専門学校等より普通科目も多く良いと思いますが、英語の内容をもっと多くした方が社会に出てから役立つと思いました。これからもよい運営をしていただきたい。但し、この調査の意味が今一つ理解できません。質問がいまいだと思う。学校の良い運営だけでの質問なのですか？

H3 *・学科と学習のからみが、今ひとつ明確でなかったように思います。学科で教わった内容をすぐに実習で確認するというようなカリキュラムであればベストだと思います。

? *・後輩たちへ

勉強する事は大切だと思いますが社会にでて一番大切だと思うのは人間関係だと思います。会社にはいろんなタイプの人達があります。今のうちに人とのつきあい方も勉強しておいたほうがいいですよ。

・学校の先生方へ

高校の頃に比べクラスの人数が少なかったせいか、At Homeなふんいきで勉強し易いかんきょうでした。この不況の中、学校も生徒の進路先等で大変だと思いますが、いい学生を社会に送り出して下さい。

* 建築関係科（建設科）

H4 *・社会に出たら勉強したくてもなかなか時間などにゆとりをとることが出来ないので、今やれ！

// *・それと、質問になるのですが、学校名がかわった場合、資格試験等の際に提出する学校名の欄には、以前の学校名、学科名を書いてよいのでしょうか？学校名が変わる際は、卒業生にも連絡していただかないと対応できないと思います。

* 建築関係科（建築科）

S51 *・まずは、学校名が変わっていたことに驚きました。今迄経歴書等には、旧学校名を書いていたのですが、これから現在名に変更したいと思います。私自身知らなかったかもしれませんが、やはり知名度という点では、まだまだ低いと思います。もっと各方面にPRされた方がよいと思います。

・今後も、アンケートとか、本校の状況等を知らせる校報のようなものがあれば送っていただくと喜びます。

// *・建築科の中で設計、製図の実習時間が短かったと思う。社会にいち早く適応するためには、設計、施工、その他に学部を分けてほしかった。（専科をとるようにしてもらいたかった）

// *・私は東京職業訓練短大の一期（建築科）の卒業した者です。卒業後国鉄に入社し、S61年分割民営化の関連で、（財）建築技術教育普及センターに転職した経歴を持ちます。この間、建築の技術に関する仕事を続けてきたことについては、2年間の短い修学期間であったものの着実に、この初期教育を得られたに起因するものと感謝申し上げる次第です。現在の仕事において、能力開発大学の〇〇教授、〇〇教授にお世話をいただいている状況であります。直接の技術職と異なった仕事をしておりますが、もちろん建築の専門性が役立つ（必要な）職種であり、それなりのやりがいを感じながらの就業であります。

・また、学校教育以後の断続的な自己啓発は、技術を「売り」にする者にとって必要不可欠かと思われます。日々の仕事に追われなかなか思い通りの訳には行きませんが今後とも、自分なりに研鑽を重ねなければならない所です。どうか、後輩の皆様も、社会に認められる技術者となるために、がんばってほしいと思います。その結果、我々の出身校が、社会により認知され、高い評価を得られるものと考えます。

S54 *・私は東京職業訓練短期大学卒業後文部省所管の4年制の大学に入学したのですが、その際単位の互換ないため、編入も認められず、また入学後の認定単位もありませんでした。カリキュラムの関係上困難とは思われますが、今後、後輩のためにも見直しをお願いしたい。

S54 *・2年間という短い時間にしては技術・知識などたくさんの事が学べたのは、訓短大のカリキュラムの成果だと思います。現在家庭に入り主婦8年目、仕事とは違う忙しさの中で生活している私が感じることを書きます。

・専門学科は今思えば楽ではありませんでした、がんばろうという力を引き出してくれたような気がします。あの年齢だからやれたのだと思うので、若い人たちにがんばってほしいと思います。また、社会に出たり家庭に入ると教養科目ももっといろいろやりたかったと思うので、科目を増やすとか選択にするとか、教育期間をのばすなど考えたら良いのではないかと思います。

・自分の都合で仕事から離れたのですが、チャンスがあれば（労働条件が合えば）また就きたいと思っています。しかし、資格があってもやはりブランクが大きいと気分的にも不安で、どうしても腰が重くならざるを得ません。

以前の感覚を取り戻し、自信をつけられるようなセミナーがあれば嬉しいと思います。

S57 *①今日では、変わっていると思うが、教育の内容が他の専門学校と比べて劣っていたと思う。教育者がたよりなかった。

②専門分野のより深い本質を教育してほしい。たとえばコンクリートと鉄筋のかぶりがなぜ50又は20m（mなのか、法規で決められた数値が、なぜで来たのか、ex、手スリの高さは1. m。

③ICの発達に共ない使いやすい測量機械があるが、電池などがきれて、バーニヤのトランシットを使わせると全く使いこなせない者が職場に多くなった。トランシットで角を振子、根本的なものが判っていない。機器の進歩は仕方がないが、根本原理まで失わせる様な教育はいらないと思うし、少数教育なのだから、個人の能力をひきだす教育を目させば良いと思う。

// *・昨今、新聞紙上等の就職難のニュースを見る度に、非常に憂慮しております。とくに女子学生の就職はきびしいようで、自分の卒業した昭和57年のことを思い出されます。宮城職業訓練短期大学の一期生ということに加えて、建築業界が不況の年で学校より紹介していただける就職は、女性には皆無だったように記憶しております。後輩への助言というのはおこがましいのですが、上記のような不況の中で職業人としてスタートした私の職歴をお知らせしたいと思います。

一番はじめの仕事は住宅会社でしたがこれが一年で到産、2番目3番目に勤務した会社も到産、合計3社の到産に会いました。2度あることは3度あるというのは真実だと実感したしだいです。次が設計事務所に5年間勤務しました。この期間に職業人としての技術、知識を身につけました。一番プラスになったのは、自分自身の仕事に対する意識の向上と仕事のおもしろさに気づいた点だと思います。そうしているうちに、経済的理由で転職を考えるようになりました。転職する時期、準備期間、自分の年令、能力、資格、世の中の景気、トータル的に考えて平成3年4月、〇〇建設（株）に入社して現在に至っております。正社員で採用されたのは非常に希なケースで、とてもラッキーだったと思います。私の年令で4度の転職が多いのか少ないのかはわかりませんが、平成3年の転職は自分にとって有意義なものでした。これから社会へとスタートを切る学生の皆様に転職の話は参考にならないと思いますが、就職の際には、会社の名前のみにとらわれずにがんばってほしいと思います。

// *・Q40にも書きましたが、いくら2年の短大だからといっても中途半端な教えはしないで、ガッチリ教えてもらいたい。それには、ここは他の大学や短大とは異なり学ぶ為に来たのだからと言うように学生に対しても意志を持つような教育をしてもらいたい。

建築科で言うと、建築工の受験資格が持てるが、測量や都市計画法の資格等において、まだ普通高等学校卒業者と同じではどうにもならないのではしょうがない。カリキュラムをもっと上のランクにおいてはどう？

・短大と言っても私の時は訓練校の延長線上にあったようなかんじだったが？（今はどうなっているかわからないが）短大なんだからもっと上のランクの教育をしてほしい。せめて地方の工科系大学と同等くらいの教育をしてほしい。

・職訓短大、職訓大をもっとマスコミ等にアピールしてはどうだろうか？
（ほとんど人はわからない）